

早稲田大学 日本語教育研究センター
インストラクター（非常勤） 募集要項

下記の要領により、インストラクター（非常勤）を募集します。

記

1. 公開： 2026 年 2 月 2 日

2. 労働条件等：

（1）職務内容

センターの所長および教務主任の監督の下に、センターの教育課程を統括するセンター常勤教員（コーディネーター）の指示に従い、日本語教育研究センターが定めるシラバス、学科目内容、および授業実施形態等に沿って、センターにおける以下のいずれかの科目を担当します。授業実施形態は対面授業・リアルタイム配信授業・オンデマンド授業の3種類があり、いずれの授業実施形態でも対応いただく必要があります。

[担当科目]

総合科目群：「総合日本語」「入門日本語」「漢字」「会話」「にほんご」「短期日本語集中科目」

※ シラバスは、以下の検索画面よりご確認ください。画面最下部「学部」欄にて「日本語」を選択いただくと、日本語教育研究センターの科目が検索できます。

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>

※ 総合科目群は入門～上級前半のレベルを対象とした科目です。

※ 「総合日本語」および「短期日本語集中科目」はチームティーチングによる日本語クラスです。

授業運営にあたっての具体的な業務は、以下の通りとします。

本学の LMS 等を活用しての業務となります。

- ①授業準備、教材準備 ②授業実施、授業記録作成 ③各種試験の実施・採点
- ④各種課題の実施、採点 ⑤成績処理、成績判定に関わる打ち合わせ
- ⑥授業運営に関わるその他の諸業務

（2）勤務時間等

早稲田大学インストラクター（非常勤）就業規程による。

（3）休日

日曜日および大学が予め授業を実施すると定めた日を除く、年末年始、その他大学が指定する日、授業を担当しない日。

（4）休暇等

労働基準法および育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律に基づき付与する。

（5）社会保険

労災保険に加入する。

3. 機関名： 早稲田大学
4. 部署名： 日本語教育研究センター
5. 機関種別： 私立大学
6. 所在地： 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-7-14
7. 地域（勤務地）： 原則として早稲田大学各キャンパス
8. 採用職種： インストラクター（非常勤）

9. 勤務形態： 非常勤

【担当可能コマ数】

インストラクター（非常勤）は、「早稲田大学インストラクター（非常勤）就業規程」にて担当可能コマ数について規定されています。

（第3条）

この規程において「インストラクター」とは、「インストラクター（非常勤）」をいう。

（第16条第3項）

- 2 インストラクターの担当授業数は、大学が特に認めた場合を除き、1週につき7コマ以内とする。ただし、インストラクターが学生である場合は、1週につき4コマ以内とする。

10. 給与等：

インストラクター（非常勤）としての受入実績に応じて、1コマ1回の授業および付帯業務につき次の給与を支給します。

（2025年度実績）

担当学期数	1学期～ 6学期：6,630 円
	7学期～ 8学期：7,980 円
	9学期以上：9,260 円

授業の他に、所長の指示に基づき実施される説明会または成績の打合せ（以下「要出席会合」という。）に出席した場合には、インストラクター（非常勤）としての当該授業学期の受入実績に応じて、1回の要出席会合につき次の給与を支給します。

（2025年度実績）

担当学期数	1学期～ 6学期：3,990 円
	7学期～ 8学期：4,780 円
	9学期以上：5,560 円

※ 通勤費は、本人からの申請に基づき、大学が認めた合理的な経路・区間の運賃について本学規程に定める限度額の範囲内で支給します。

1 1. 着任（採用）日： 2026 年 9 月 21 日

※ 着任前の 9 月上旬～中旬（日時未定）にインストラクター（非常勤）の方に対し、担当科目別の説明会を開催する予定です。（説明会への出席については、「要出席会合」として給与を支給します。対面で実施する場合は出席に係る通勤費も別途支給します。）

1 2. 任期： 授業を担当する学期

（春学期：4 月 1 日～9 月 20 日、秋学期：9 月 21 日～翌 3 月 31 日）

※ 任期満了後、引き続き 1 学期を超えない範囲で更新する場合があります。ただし、満 70 歳に達する年度を超えて在職することはできません。

1 3. 募集人員： 若干名

1 4. 専門分野： 日本語教育学

1 5. 応募資格：

日本語を母語とする者またはそれと同等の日本語力を有する者で、着任時までに次の（１）、（２）の要件のいずれかを満たす者。外国籍の者については（３）の要件についても満たす者。

（１）日本語教育学を主専攻または副専攻とする修士以上の学位を有する者

（２）大学、日本語学校その他の日本語教育機関で 2 年以上の日本語教育歴を有する者であって、修士以上の学位を有する者

（３）外国籍の者については、早稲田大学日本語教育研究センターインストラクター（非常勤）として勤務可能な在留資格を有する者、もしくは着任時までに取得済みの者

※ 着任時に早稲田大学の学籍を有する場合は、大学院日本語教育研究科博士後期課程に在学する者に限ります。

※ 本学においてインストラクター以外の業務に従事してはならないため、着任時において、早稲田大学に別資格で雇用されている者は応募できません。ただし、グローバル・エデュケーション・センター設置科目「学術的文章の作成」の指導員、ライティング・センターのチューターに限り、兼務を認めます。

1 6. 応募書類：

応募書類は、選考の結果に関わらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

（１）履歴書、教育研究業績、日本語教育実績一覧（所定書式あり）

※ 本学所定書式を、<https://waseda.box.com/v/cjl-2609-inst> よりダウンロードしてください。

※ 印刷は片面で行い、ホチキス止めはしないでください。

（２）担当可能レベル

※ [申請フォーム](#)より入力してください。

（３）照会先 2 件（氏名、所属、応募者との関係、メールアドレス）

※ [申請フォーム](#)より入力してください。照会先は親族以外とします。

17. 募集期間・応募方法：

2026年2月2日（月）～2026年4月3日（金）（必着）【日本時間】

※ 応募書類（1）

応募書類封筒に『インストラクター（非常勤）応募書類在中』と朱書きで明記し、簡易書留や宅配便等の追跡可能な方法で送付してください。直接の持ち込みは受け付けられません。

※ 応募書類（2）および（3）

2026年4月3日（金）17：00までに[申請フォーム](#)より必要事項を入力してください。申請フォームにて複数回申請を行った場合は、原則として最後に申請されたものを受け付けします。

18. 選考方法：

（1）第一次選考（書類選考）

※ 第一次選考結果は、2026年5月中旬に本人宛にメールで通知します。

※ 第一次選考通過者には、面接選考課題を併せて通知します。

（2）第二次選考（面接選考）

※ 第一次選考通過者に対して、2026年5月30日（土）にオンライン（Zoom）にて面接を実施する予定です。

※ オンラインでの面接等に必要な機器・環境は応募者ご自身で整えていただく必要があります。詳細は第一次選考通過者に案内します。

19. 応募書類送付先・問い合わせ：

早稲田大学 日本語教育研究センター 教員募集係

[住所] 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-7-14

[電話] 03-5273-3142

[E-mail] cjl-kyoin-jinji@list.waseda.jp

20. その他

（1）早稲田大学は、ダイバーシティ＆インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。

（2）早稲田大学キャンパス内は指定屋外喫煙場所を除き、全面禁煙です。

以上